

第 9 回液化石油ガス流通ワーキンググループ
コメント

2024 年 5 月 20 日
WG オブザーバー 橘川武郎

1. 商慣行是正に向けた自主取組宣言

- ・ LP ガス事業者が続々と商慣行是正に向けた取組宣言を公表しているが、この動きは予想以上のものであり大変喜ばしい。今回の議論を開始した当初は疑心暗鬼だったものが、経済産業省がここまで対応するのかと、その本気度が業界に伝わったということではないかと思う。また、業界団体のトップが率先して宣言を出した意義も非常に大きい。今後の動きに期待したい。業界紙などで定期的に公表していくのも一案ではないか。
- ・ これだけ LP ガス業界側が動いているのだから、不動産業界版の適合宣言も是非やってもらいたい。LP ガス料金をめぐる問題について消費者の関心が高まりつつある中、不動産関係者が「無償貸与は受けません」と宣言することのメリットがでてきているように思う。適合宣言が消費者から選ばれる要素になるのではないかな。

2. ガイドライン等の内容について

- ・ 個別判断の蓄積がない中でガイドラインを作っていくのは難しいだろうが、まずは、通報フォーム等に寄せられた情報をもとに、厳しめなラインで考え方や具体事例を記載するということが良いのではないかな。今後、判断事例を積み重ねながら、適宜例外を追加するようなかたちで修正していくというやり方で良いと思う。

3. 通報フォーム、市場監視体制

- ・ 通報フォームには不動産関係者の情報も入ってきているとのことだが、それが国交省による対応につながっているかが見えづらい。国交省自身が独自に情報収集したり、もしくはエネ庁の情報が国交省に自動的に共有される仕組みとするなど、やり方は様々あるだろうが、国交省自身が過剰な要求をしている不動産関係者を指導していくという動きを見せてほしい。ゆくゆくは国交省版 WG も開催されるべきではないかと思う。